

令和元年度科学技術人材育成費補助事業 データ関連人材育成プログラム (中間評価結果)

(実施期間：平成 29～令和元年度)

実施機関：東京医科歯科大学 (総括責任者：吉澤 靖之)

(1) 評価結果

総合評価	事業の進捗状況	高度データ 関連人材の育成	実施体制の構築	今後の進め方	進展計画
S	s	s	s	s	s

総合評価：S (所期の計画を越えた取組が行われており、今後の一層の進展が期待される)

(2) 評価コメント

大学・研究施設が持つ医療データに実際に触れて研修プログラムを受けられること、医療機関の Real World Data を使用して研修を行えることは強みであり、受講者や企業にとって大きなメリットとなっていることを高く評価する。また、各評価項目における取組が順調に進捗しており、受講者数の改善等、所期の計画どおりに進捗しなかった事項への対処も適切である。これまでの成果等に基づき、コンソーシアムの自走化に向けてより一層の発展が期待できる。

- ・ **事業の進捗状況**：所期の計画目標として示した人材育成・研究会・キャリアパスの3つのプログラムについて、順調に進捗している。特に、受講者数については、平成 29 年度は目標受講者数の 45%しか達成していなかったが、受講者の声を反映し、実習のコマ数を大幅に増強する等のカリキュラム改善、広報活動が功を奏し、平成 30 年度は 90%、平成 31 年度は 142%と改善させ、所期の計画どおりに進捗しなかった事項への対処が適切であったと評価できる。また、修了者数についても、平成 30 年度は 54 名の受講者のうち半数以上の 29 名 (うち 11 名が博士人材等) が修了しており評価できる。今後は、博士人材等修了者数の増加を期待したい。
- ・ **高度データ関連人材の育成**：育成する人材像やキャリアパス等が明確に設定され、受講者数だけでなくプログラムの修了者数が多いことは、研修プログラムとして高く評価できる。また、東北メディカル・メガバンク機構等の大学・国研で各機関が保有するデータを使用して課題解決を行う研修プログラム等、実践的なスキルや知識を習得する効果的な研修プログラムを短期間で構築している。さらに、全国から講師を集める等、受講者に良いプログラムを提供するため尽力している。
- ・ **実施体制の構築**：運営委員会において、東京医科歯科大学、参画機関から 1 名ずつ参加した計 12 名の委員がコンソーシアムの運営に関する基本方針を決定していること、また、連携機関連絡会議において、連携機関と定期的に意見交換を行っていること等によって、各機関の意見がプログラムに反映されやすく、緊密な協働体制が構築されている。
- ・ **今後の進め方**：コンソーシアムへ 21 社もの参画企業が 200 万円の年会費を負担し参画していること等から、補助期間及び補助事業期間の終了後においても、コンソーシアムが自立して、取組の継続性を確保し得る実施体制や、明確な資金計画等が設定されていることが期待される。
- ・ **進展計画**：これまでの成果等に基づき、さらにコンソーシアムを拡大し、医療創薬分野におけるデータ科学教育の体系を確立することが期待される。

(注) 博士人材等とは、博士課程学生や博士号取得者等 (博士の学位を取得した者又は博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上、退学した者 (いわゆる「満期退学者」)) をいう。